



④アイシャドウの発色を良くするために、まぶたのくすみをカバーします。アイシャドウブラシの片面に、肌色よりも明るい色味をなでるように優しくとり、ティッシュの上でアイシャドウを穂先になじませます。一番明るくしたい顔の中央に最初に筆を置き、顔全体にアイシャドウをなじませます。次に、アイシャドウブラシのもう一方の面に、好きなアイシャドウを少量なでるように優しくとり、ティッシュの上でアイシャドウをなじませた後、顔の際にブラシを置き、アイホールへほかしていきます。



アイシャドウブラシは、毛先のある側面を寝かせて、なでるようにして使用するとムラがでにくく、美しく仕上がります。

- ①ファンデーションのツキや持ちをよくするために、メイクアップベース（下地）を顔全体に薄く均一にのせます。  
 ②リキッド用ファンデーションブラシの先端に少量のファンデーションを取り、頬から顔の外側に向かって薄くのぼしていきます。顔周りにはほとんどファンデーションがのらないよう、のぼしきります。筆の天面をすべらせるように使い、赤みやくすみなどトラブルをカバーしたい部分は軽くトントンと叩き込みます。目の周りや口の周りは動きが多くヨレやすいので、ファンデーションやコンシーラーなどをのせすぎないことがポイントです。また、スポンジで軽く叩くようにおさえ、余分な油分やファンデーションをとりながらムラをなくし定着させていきましょう。



- パウダーブラシにフェイスパウダー少量をまんべんなく含ませ、優しくなでるようにブラシを動かしてなじませていきます。顔全体に薄くベールをかけるように軽やかにのせていきます。ベースメイクをキープするために、メイクアップミストもおすすめです。顔色のトーンアップをする場合には、コントロールカラーを下地あるいはファンデーションの後、ファンデーションに混ぜて使用するなど、出した印象に合わせて効果的に使用していきます。③チークカラーをブラシで優しくなでるように少量色味をとります。ティッシュの上でブラシにまんべんなくチークカラーがいきわたるようになじませた後、口角を上げた時に頬の一番高くなる部分に最初にブラシを置きます。次に、頬骨に沿うように卵型の楕円形をイメージして筆を動かします。出した色味になるまで同じ行程を繰り返します。一度にたくさん色味をのせすぎないことが上手に仕上がるポイントです。



＜お手入れ方法＞  
 メイクアップの後は、筆のお手入れをしていきましょう。使用後はティッシュで穂先をなでるようにやさしく化粧材を落としていきます。化粧材や油分などで毛先がもたついてきたら洗浄していきます。穂先を水かぬるま湯に浸し、固形石鹸など洗浄剤で手洗いをを行います。流水で何度もすすぎ洗いをし、水気を切って陰干しします。パウダーブラシなど、書筆の大筆くらいの径がある筆は、乾くの時間がかかります。根元からしっかり乾燥させてから使用しましょう。